

心の通った市政をつくろう！ 市長と議会に大きなミソ

泉南市議13人
議会報告№1

議会や市民に
説明なく進む
大型公共事業

りんくうタウンのイオンの出店に伴って計画された信達樽井線の高架橋事業は総額56億円にもものぼります。そのうち23億円は東洋クロスの用地買収や補償になります。

市の財政を左右する高額な道路建設にもかかわらず、23億円の東洋クロスとの契約も議会には事後報告されただけです。

市長は議会の承認もないまま、2度も専決処分信達樽井線関係予算を執行しました。

このように議会のチェック機能を無視する市長の姿勢に説明責任や道義的責任が問われます。

予算案を否決！ 新しい街づくりを始めよう！

私たちは3月議会で3億円余の人件費削減案に反対し、17年度予算案を否決しました。

議会は今回以外、人件費削減に賛成しています。民営化や外部委託(アウトソーシング)による人件費の削減の提案も行ってきました。

しかし今回は、①人件費より不要・不急の大型公共事業を先に削減すべき ②2年間に限定した今回の人件費削減は抜本的な対策にならない ③給与の引き下げでなく、職員定数の見直しをはかり人件費の削減を等の意見で否決されました。

向井市長の市民や議会との意思の疎通を欠いた市政は、協力できません。



議会としては、これ以上財政を破たんさせることはできません。向井市政11年間、人件費はほぼ60億円台で推移し、破綻した公共事業の元利払いとともに市民生活を苦しめています。私たちは大型公共事業中心の向井市政ではなく、市民生活を基本にした新しい街づくりを進めるべきだと考えています。

わたしたちの主張

- (1) 不要不急の公共事業の延期・凍結・中止を図ります。
- (2) 学校や老人集会所など公共施設の改修や、生活道路や水路など身近な生活関連事業を進めます。
- (3) 大型公共事業の事前評価や事後評価を市民とともにを行い、情報公開に努め、ムダを省きます。
- (4) 子育て支援、子どもたちの教育(安全)を第一とした街づくりを進めます。

財政危機は失政の積み重ね

失政＝破たんした公共事業

市長の 政治責任

泉南市は全国でも10数市町しかない赤字団体のひとつです。それも6年連続の赤字。向井市政になって借金は予算の2倍の515億円、40億円あった基金は17年末には6億円にも落ち込みます。

私たちが人件費約3億1千万円削減に反対したのは、削減分を不要な公共事業に回すという、行財政改革に逆行する、向井市政そのものに対してです。向井市長は自らの失政に反省もなく、市民福祉を犠牲にしてでも自分でしたい大型公共事業を続けています。

[市長は合併の失敗についても、合併協の会長として推進したにもかかわらず「わたしはスキコノ

デ合併を進めたわけではない」と無責任な態度です。]



【① 砂川駅前再開発】市長は開発の失敗の責任を追及されて「砂川駅前再開発は中止してよかった」と無責任な答弁。この失敗でできた負債は25億円、塩漬けになった用地は放置されたままです。市長には無謀な大型事業を計画し、失敗させた責任者としての反省は全くありません。

【② 農業公園】24億円の予算をつぎ込み、山を切り崩し、出来たのはチューリップ畑と簡単な公園だけです。今後、毎年1億円の元利払いと1500万円の維持費がかかってきます

【③ あいびあ】一福祉施設の建設だけでなく、中央公園用地も買い足して総額82億円にもなりました。毎年、元利払いと維持費に3億5千万円を支払っています。中央公園用地は現在、職員の駐車場になっています。用地購入費は全て借金です。元金を返せないまま毎年3500万円の利子が増え続けています。



【④ 下水道】一基盤整備は必要です。沿岸部の浸水対策も府の海岸整備とペアで実施されました。しかし、一気に整備をおこなったため、下水道事業の元利払いは年12億円にもなります。

【⑤ 牧野公園】職員給与約3億

円の減額の際にも、削減分でも、牧野公園（3億8千万円）を作りました。

【⑥ 市民の里】4億円もかけ市民の里を整備しましたが、途中で放棄して大阪府いいなりで農業公園を建設し、今ではぺんぺん草が生えています。土地を貸している林野組合は放置するなら借地を返せと主張しています。

【⑦ 青少年の森】青少年団体が一泊学習などに利用していたが、財政難のため、開園は夏だけ、宿泊もできなくなりました。

(発行者・泉南市議)

市道浩高・大森和夫・北出寧啓
木下豊和・島原正嗣・谷 外嗣
角谷英男・成田政彦・東 重弘
堀口武視・真砂 満・松本雪美
和気信子(あいうえお順)
連絡先83-0001(市役所)